

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和06年12月18日

計画の名称	藤枝市における安全・安心・快適な住環境の創出（地域住宅計画）														
計画の期間	令和03年度～令和07年度（5年間）												重点配分対象の該当		
交付対象	藤枝市														
計画の目標	市営住宅等の公共建築物の住環境の改善を図ることにより、安全・安心・快適な住まいを実現する。 民間の住宅・建築物の耐震化や住宅市街地の防災対策を図ることにより、安全で安心できる住まい・まちづくりを実現する。 住宅や建築物の省エネ化を推進することにより、脱炭素化社会を実現する。														
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		773	A	762	B	0	C	11	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A+B+C+D）		1.42	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3当初		R7末
1	藤枝市市営住宅の老朽化した屋上・外壁防水改修実施率を上げる。 事業実施率をもとに算出する。 （屋上・外壁防水改修実施率）＝（改修した市営住宅棟数）／（地域住宅計画（R3～7中）の改修予定市営住宅棟数）	0%	%	100%
2	藤枝市における住宅の耐震化率を上げる。 住宅土地統計調査等の統計データや事業実施状況をもとに算出する。 （住宅の耐震化率）＝（耐震性が確保された住宅数）／（全住宅数）	90%	%	95%
3	藤枝市における道路整備延長増加による狭あい道路の解消。 事業実施状況をもとに、狭あい道路整備延長の目標値に対する達成率を算出する。 （目標達成率）＝（狭あい道路整備延長）／（R7末時点の狭あい道路整備目標延長（2,078m））	84%	%	100%
4	藤枝市における既存住宅の省エネ化率を上げる。 事業実施状況をもとに算出する。 （住宅の省エネ化率）＝（実施した住宅数）／（R5～R7実施予定住宅数）	0%	%	100%

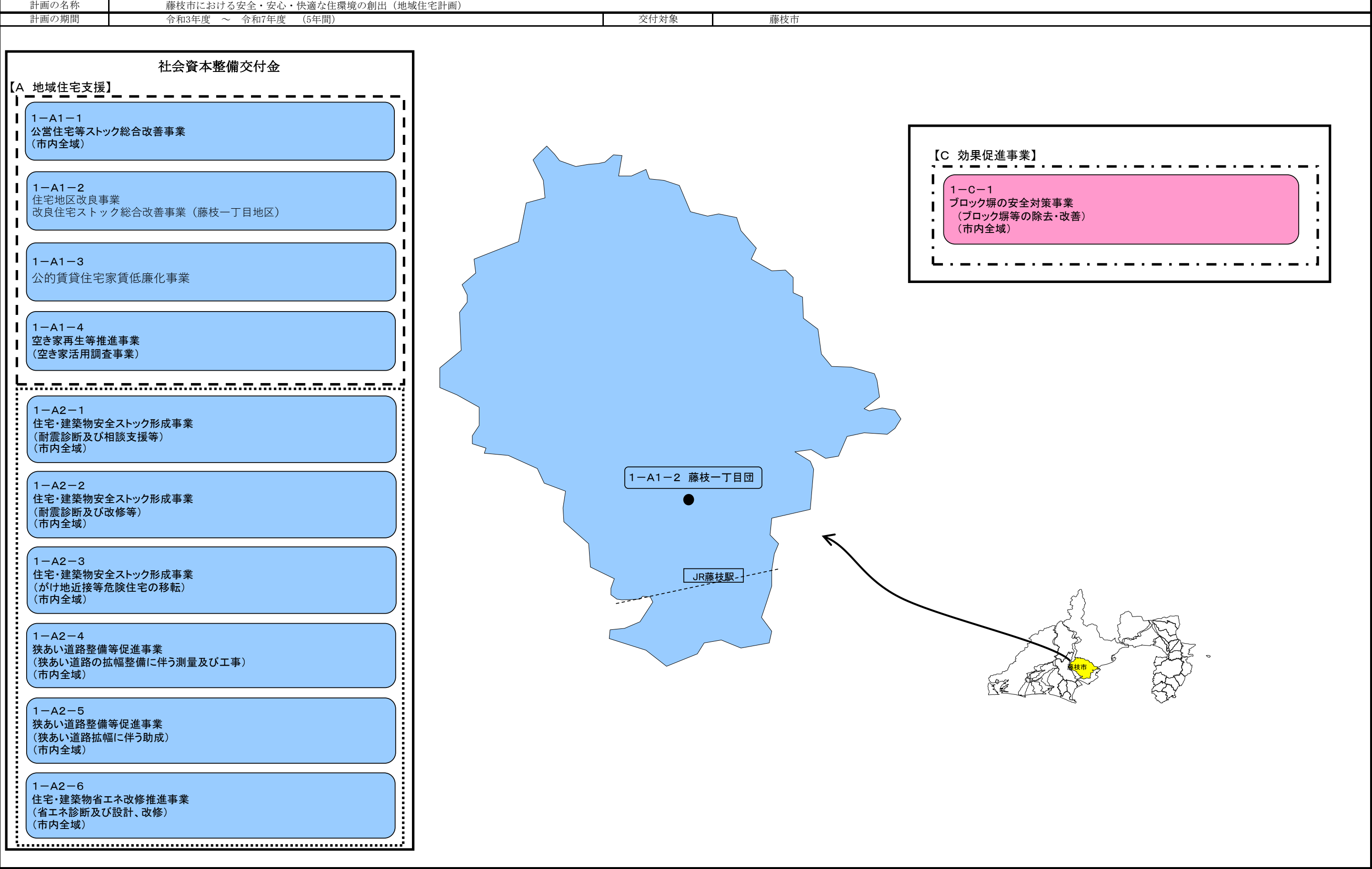
備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	藤枝市	直接	藤枝市	-	-	公営住宅等ストック総合 改善事業	市営住宅の個別改善等	藤枝市						161		策定済
	A15-002	住宅	一般	藤枝市	直接	藤枝市	-	-	住宅地区改良事業	改良住宅の個別改善等	藤枝市						10		策定済
	A15-003	住宅	一般	藤枝市	間接	個人	-	-	公的賃貸住宅家賃低廉化 事業	家賃低廉化	藤枝市						21		-
	A15-004	住宅	一般	藤枝市	直接	藤枝市	-	-	空き家再生等推進事業	空き家実態把握	藤枝市						8		-
	A15-005	住宅	一般	藤枝市	間接	個人	-	-	借上型公営住宅建設事業	借上型市営住宅の建設に伴う 助成	藤枝市						0		-
											小計						200		
住環境整備事業	A16-006	住宅	一般	藤枝市	直接	藤枝市	-	-	住宅・建築物安全ストッ ク形成事業	耐震診断及び相談支援等	藤枝市						38		-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
住環境整備事業	A16-007	住宅	一般	藤枝市	間接	個人	-	-	住宅・建築物安全ストック形成事業	耐震診断及び改修等	藤枝市						494	-	
	A16-008	住宅	一般	藤枝市	間接	個人	-	-	住宅・建築安全ストック形成事業	がけ地近接等危険住宅移転	藤枝市						0	-	
	A16-009	住宅	一般	藤枝市	直接	藤枝市	-	-	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路拡幅整備に伴う測量及び工事	藤枝市						11	-	
	A16-010	住宅	一般	藤枝市	間接	個人	-	-	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路拡幅整備に伴う助成	藤枝市						3	-	
	A16-011	住宅	一般	藤枝市	間接	個人	-	-	住宅・建築物省エネ改修推進事業	省エネ診断及び設計、改修	藤枝市						16	-	
											小計						562		
										合計						762			

C 効果促進事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
住環境整備事業	C16-001	住宅	一般	藤枝市	間接	個人	-	-	ブロック塀の安全対策事業	ブロック塀除却	藤枝市						1		-	
		住宅・建築物の耐震改修とあわせてブロック塀の地震安全対策を実施する																		
	C16-002	住宅	一般	藤枝市	間接	個人	-	-	耐震シェルター整備事業	耐震シェルター設置に伴う助成	藤枝市						6		-	
		住宅耐震診断後、耐震シェルターによる地震安全対策の利用を促進する																		
	C16-003	住宅	一般	藤枝市	間接	個人	-	-	防災ベッド整備事業	防災ベッド設置に伴う助成	藤枝市						4		-	
		住宅耐震診断後、防災ベッドによる地震安全対策の利用を促進する																		
												小計						11		
											合計						11			

参考図面



事前評価チェックシート

計画の名称： 藤枝市における安全・安心・快適な住環境の創出（地域住宅計画）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 計画の目標が基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 地域の住宅ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。	○
I. 目標の妥当性 地域の住宅政策上の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
I. 目標の妥当性 関連する各種計画（住生活基本計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。	○
I. 目標の妥当性 数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の実施に当たり、福祉施策等との連携が図られている。	
II. 計画の効果・効率性 事業の実施に当たり、民間活力の活用が図られている。	
II. 計画の効果・効率性 事業効果をより高めるため、ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせる等の工夫がなされている。	
II. 計画の効果・効率性 地域の実情に応じた創意工夫に基づく事業が盛り込まれている。	
II. 計画の効果・効率性 地域再生計画に地域住宅交付金の活用についての記載をしており、内閣総理大臣の評価を受けている。	
III. 計画の実現可能性 事業熟度が十分である。	○

[illegible]